

1. 実況上の着目点

① 日本海には500hPa 5400m付近で-30℃以下の寒気を伴ったトラフがあって、東進。対応する低気圧が日本海を発達しながら北東進。また、寒冷前線が日本海から西日本にのびている。前線や低気圧の付近や東日本の太平洋側で雷を多数検知。東日本太平洋側と北海道地方で竜巻注意情報を発表。

② ①の低気圧や前線周辺と華中の高気圧の南縁では気圧の傾きが大きく、やや強い風や強い風が吹き、波が高く、西～東日本の日本海側でしけとなっている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①のトラフに対応する低気圧は、日本海を発達しながら北東進し、28日夜にはオホーツク海へ進む。また、寒冷前線は28日朝にかけて西～北日本を通過し、前線のキンク上の三陸沖で低気圧が発生して発達しながら北東へ進む。前線や低気圧に向かう下層暖湿気と上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った強い雨や局地的には激しい雨が降り大雨となる所がある。東日本の日本海側では28日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。東～北日本では28日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。また、前線や低気圧の周辺では気圧の傾きが大きくなり、強い風や局地的には非常に強い風が吹き、波が高くしけとなる所がある。北海道地方では29日にかけて、暴風に警戒。東北地方では28日は、暴風に注意・警戒。西日本では28日は、東～北日本では29日にかけて、強風や高波に注意。北日本では29日にかけては、風雪にも注意。

② 1項②の高気圧と29日にかけて東シナ海から日本の南へ移動する高気圧の南縁で気圧の傾きが大きい状態が続き、強い風が吹き、波が高くなる所がある。南西諸島では28日は、強風や高波に注意。

③ 28日は、2項①の寒冷前線通過後、西～東日本の広い範囲で黄砂が飛来し、視程が10km未満となる所がある見込み。黄砂の実況に留意。

④ 30日は、500hPa 5400m付近のトラフがサハリン付近を北東進し、対応して前線を伴った低気圧が日本海北部からオホーツク海へ進む。前線や低気圧に向かって下層暖湿気が流入し、大気の状態が不安定となる。北日本では30日は、落雷や突風、急な強い雨に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項〔量的予報等〕 ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 降雪量(06時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。③ 波浪(明日まで)：北海道5、東北・伊豆諸島・北陸・近畿・中国4、東海・九州北部・九州南部・奄美・沖縄3m。④ 高潮(明日まで)：西～東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「雷と突風及び降ひょうに関する全般気象情報」を5時頃に発表予定。